



平成29年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場会社名 アニコム ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8715 URL <http://www.anicom.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小森 伸昭
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 亀井 達彦 (TEL) (03) 5348-3911
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月25日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-----------|--------|------|-------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期中間期 | 14,041 | 9.5 | 1,072 | △19.2 | 633 | △34.0 |
| 28年3月期中間期 | 12,821 | 20.2 | 1,327 | 97.2 | 958 | 109.5 |

(注) 包括利益 29年3月期中間期 633百万円 (1.1%) 28年3月期中間期 626百万円 (24.2%)

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|-----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期中間期 | 35.30 | 35.02 |
| 28年3月期中間期 | 53.62 | 53.13 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-----------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期中間期 | 26,499 | 11,285 | 42.2 |
| 28年3月期 | 25,192 | 10,699 | 42.2 |

(参考) 自己資本 29年3月期中間期 11,178百万円 28年3月期 10,639百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 28,700 | 8.3 | 2,600 | 22.1 | 1,789 | 27.9 | 99.78 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期中間期 | 17,938,400株 | 28年3月期 | 17,933,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期中間期 | 610株 | 28年3月期 | 610株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 29年3月期中間期 | 17,936,273株 | 28年3月期中間期 | 17,878,747株 |

(個別業績の概要)

1. 平成29年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|------------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年 3月期中間期 | 860 | △7.7 | 346 | △39.0 | 348 | △38.7 | △62 | — |
| 28年 3月期中間期 | 931 | 268.5 | 567 | — | 568 | — | 579 | — |

| | 1株当たり 中間純利益 |
|------------|----------------|
| 29年 3月期中間期 | 円 銭 △3.47 |
| 28年 3月期中間期 | 32.40 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年 3月期中間期 | 9,973 | 9,216 | 91.3 |
| 28年 3月期 | 10,048 | 9,317 | 92.1 |

(参考) 自己資本 29年 3月期中間期 9,109百万円 28年 3月期 9,257百万円

2. 平成29年3月期の個別業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|-------|------|------|-----|------|-----|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 1,747 | 12.3 | 691 | 3.3 | 693 | 3.4 | 207 | △68.0 | 11.54 |

※ 中間監査手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく中間監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく中間連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当中間期に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表 | 4 |
| (1) 中間連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 中間連結株主資本等変動計算書 | 7 |
| (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (7) セグメント情報 | 10 |
| 3. 中間財務諸表 | 12 |
| (1) 中間貸借対照表 | 12 |
| (2) 中間損益計算書 | 13 |
| (3) 中間株主資本等変動計算書 | 14 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 15 |
| 4. 補足情報 | 16 |
| (1) 平成29年3月期中間期 損益状況 | 16 |
| (2) 経常収益の状況 | 17 |
| (3) 種目別保険料・保険金 | 18 |
| (4) 有価証券関係 | 19 |
| (5) ソルベンシー・マージン比率 | 20 |

1. 当中間期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策が継続しているものの個人消費は盛り上がりには欠けるとともに、為替が従前より円高傾向に推移していることでインバウンド消費にも減速が見られ、消費全体に力強さを欠いており、依然として本格的な景気回復には道半ばの状況です。

このようななか、当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社（以下、「アニコム損保」）では、重点施策と位置付けている「ペット保険の健全な成長」に向け精力的な営業活動に注力しており、保有契約数は610,350件（前連結会計年度末から24,388件の増加・同4.2%増）と、順調に増加しております。一方、費用に関しては、損害率改善施策の効果が一段と発現していることにより、E/I損害率注1）は59.7%となり、前年同期比で1.6pt改善いたしました。一方、経営効率改善は進んでいるものの、前第3四半期の本社移転や専門人材のみならず営業部門を中心とした人材確保や研究設備の充実など、ペット保険で獲得した利益を基に中長期のさらなる成長に向けて積極的な投資を進めていることから、既経過保険料ベース事業費率注2）は31.9%と前年同期比で3.0pt上昇いたしました。この結果、両者を合算したコンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）は前年同期比で1.4pt上昇し91.6%となりました。

もうひとつの重点施策である「予防による新たな価値提供」に関しては、「どうぶつと飼い主の健康寿命延伸」を目指し、これまで当社グループに蓄積された保険金請求データやカルテデータ等を科学的・疫学的に分析することで、どうぶつの疾病に関する予後改善、再発防止、未然防止に役立つ施策を展開すべく、グループ全体で多角的な研究と新規事業開発を積極的に行っております。また、新規事業開発と相俟って研究開発を促進すべく、設備投資の強化と「どうぶつと飼い主の健康寿命延伸」に必要な専門的な人材を幅広く獲得しており、体制整備が着実に進んでおります。

以上の結果、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

保険引受収益13,642百万円、資産運用収益191百万円などを合計した経常収益は14,041百万円（前第2四半期連結累計期間と比べ1,219百万円増・9.5%増）となりました。一方、保険引受費用9,194百万円、営業費及び一般管理費3,660百万円などを合計した経常費用は12,968百万円（同1,474百万円増・12.8%増）となりました。その結果、経常利益は1,072百万円（同254百万円減・19.2%減）となりました。また、「どうぶつと飼い主の健康寿命延伸」に向けたイベントとして取り組んでおりましたアニコパーク西新宿が当初予定よりも早期に終了することとなったため、年度後半に予算化しておりました減損損失を第1四半期連結累計期間に早期計上している結果、親会社株主に帰属する中間純利益は633百万円（同325百万円減・34.0%減）となりました。

注1）E/I損害率：発生ベースでの損害率。

$(\text{正味支払保険金} + \text{支払備金増減額} + \text{損害調査費}) \div \text{既経過保険料}$ にて算出。

注2）既経過保険料ベース事業費率：発生ベースの保険料（既経過保険料）に対する発生ベースの事業費率。

$\text{損保事業費} \div \text{既経過保険料}$ にて算出。

(2) 財政状態に関する説明

①貸借対照表の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、26,499百万円（前連結会計年度末と比べ1,307百万円増）となりました。主な増加要因は、ペット保険契約増加に伴う運用資産の増加等によるものであります。

負債合計は、15,214百万円（同721百万円増）となりました。主な増加要因は、正味収入保険料の増加に伴い、保険契約準備金が494百万円増加したためであります。

純資産合計は、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益計上および配当金の支払い等により、11,285百万円（同585百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,421百万円の収入（前第2四半期連結累計期間と比べ566百万円増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が890百万円、減価償却費が234百万円となったほか、支払備金が162百万円、責任準備金が331百万円それぞれ増加したためであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,139百万円の収入（前第2四半期連結累計期間と比べ、3,016百万円円の増加）となりました。主な要因は、有価証券の取得により3,347百万円支出した一方、有価証券の売却・償還により7,427百万円の収入によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、85百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は55百万円の収入）となりました。主な要因は、配当金が89百万円支出となったためであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、10,581百万円（前連結会計年度末と比べ4,474百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想のうち、連結業績予想につきましては、平成28年5月9日に公表致しました決算短信中の「平成29年3月期の連結業績予想」をご参照ください。

また、単体業績予想につきましては、平成28年11月7日に公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ(個別)」をご参照ください。

なお、今後の業績推移により修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当中間連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金及び預貯金 | 7,556 | 12,331 |
| 有価証券 | 10,739 | 7,330 |
| 貸付金 | - | 343 |
| 有形固定資産 | 1,527 | 1,467 |
| 無形固定資産 | 653 | 734 |
| その他資産 | 4,297 | 3,789 |
| 未収金 | 2,041 | 1,478 |
| その他の資産 | 2,256 | 2,310 |
| 繰延税金資産 | 433 | 517 |
| 貸倒引当金 | △16 | △14 |
| 資産の部合計 | 25,192 | 26,499 |
| 負債の部 | | |
| 保険契約準備金 | 11,888 | 12,382 |
| 支払備金 | 1,558 | 1,721 |
| 責任準備金 | 10,330 | 10,661 |
| その他負債 | 2,414 | 2,611 |
| 賞与引当金 | 157 | 181 |
| 特別法上の準備金 | 32 | 37 |
| 価格変動準備金 | 32 | 37 |
| 負債の部合計 | 14,492 | 15,214 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,396 | 4,398 |
| 資本剰余金 | 4,286 | 4,288 |
| 利益剰余金 | 2,080 | 2,614 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 10,762 | 11,301 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △123 | △122 |
| その他の包括利益累計額合計 | △123 | △122 |
| 新株予約権 | 60 | 106 |
| 純資産の部合計 | 10,699 | 11,285 |
| 負債及び純資産の部合計 | 25,192 | 26,499 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|-----------------|--|--|
| 経常収益 | 12,821 | 14,041 |
| 保険引受収益 | 12,234 | 13,642 |
| (うち正味収入保険料) | 12,234 | 13,642 |
| 資産運用収益 | 338 | 191 |
| (うち利息及び配当金収入) | 176 | 142 |
| (うち有価証券売却益) | 162 | 49 |
| その他経常収益 | 247 | 207 |
| 経常費用 | 11,493 | 12,968 |
| 保険引受費用 | 8,406 | 9,194 |
| (うち正味支払保険金) | 6,580 | 7,299 |
| (うち損害調査費) | 420 | 476 |
| (うち諸手数料及び集金費) | 749 | 923 |
| (うち支払備金繰入額) | 173 | 162 |
| (うち責任準備金繰入額) | 482 | 331 |
| 資産運用費用 | - | - |
| 営業費及び一般管理費 | 3,032 | 3,660 |
| その他経常費用 | 54 | 113 |
| (うち支払利息) | 0 | 0 |
| 経常利益 | 1,327 | 1,072 |
| 特別利益 | 27 | - |
| 固定資産処分益 | 27 | - |
| 特別損失 | 19 | 182 |
| 固定資産処分損 | 11 | 17 |
| 減損損失 | - | 147 |
| 賃貸借契約解約損 | - | 12 |
| 特別法上の準備金繰入額 | 7 | 5 |
| 価格変動準備金繰入額 | 7 | 5 |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,335 | 890 |
| 法人税及び住民税等 | 407 | 341 |
| 法人税等調整額 | △30 | △84 |
| 法人税等合計 | 377 | 257 |
| 中間純利益 | 958 | 633 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 958 | 633 |

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 958 | 633 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △331 | 0 |
| その他の包括利益合計 | △331 | 0 |
| 中間包括利益 | 626 | 633 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 626 | 633 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | — | — |

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-----------------------|-------|-------|-------|------|--------|--------------|---------------|-------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 4,350 | 4,240 | 681 | △0 | 9,272 | △1 | △1 | — | 9,270 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 28 | 28 | | | 56 | | | | 56 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | | | 958 | | 958 | | | | 958 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | | | | | | △331 | △331 | 9 | △322 |
| 当中間期変動額合計 | 28 | 28 | 958 | - | 1,014 | △331 | △331 | 9 | 692 |
| 当中間期末残高 | 4,378 | 4,268 | 1,640 | △0 | 10,286 | △333 | △333 | 9 | 9,962 |

当中間連結会計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-----------------------|-------|-------|-------|------|--------|--------------|---------------|-------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 4,396 | 4,286 | 2,080 | △0 | 10,762 | △123 | △123 | 60 | 10,699 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 2 | 2 | | | 4 | | | | 4 |
| 持分法の適用範囲の変動 | | | △9 | | △9 | | | | △9 |
| 剰余金の配当 | | | △89 | | △89 | | | | △89 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | | | 633 | | 633 | | | | 633 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | | | | | | 0 | 0 | 45 | 46 |
| 当中間期変動額合計 | 2 | 2 | 534 | - | 538 | 0 | 0 | 45 | 585 |
| 当中間期末残高 | 4,398 | 4,288 | 2,614 | △0 | 11,301 | △122 | △122 | 106 | 11,285 |

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|--|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 1,335 | 890 |
| 減価償却費 | 130 | 234 |
| 支払備金の増減額 (△は減少) | 173 | 162 |
| 責任準備金の増減額 (△は減少) | 482 | 331 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 4 | △1 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 39 | 24 |
| 価格変動準備金の増減額 (△は減少) | 7 | 5 |
| 利息及び配当金収入 | △176 | △141 |
| 有価証券関係損益 (△は益) | △162 | △1 |
| 株式報酬費用 | 9 | 45 |
| 支払利息 | - | 0 |
| 有形固定資産関係損益 (△は益) | 11 | 165 |
| その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加) | △582 | △118 |
| その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少) | 69 | △9 |
| 小計 | 1,342 | 1,587 |
| 利息及び配当金の受取額 | 166 | 157 |
| 利息の支払額 | - | △0 |
| 法人税等の支払額 | △653 | △323 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 855 | 1,421 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 預貯金の純増減額 (△は増加) | 1,200 | △300 |
| 有価証券の取得による支出 | △4,884 | △3,347 |
| 有価証券の売却・償還による収入 | 4,976 | 7,427 |
| 貸付けによる支出 | - | △343 |
| 資産運用活動計 | 1,291 | 3,437 |
| 営業活動及び資産運用活動計 | 2,147 | 4,858 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △664 | △160 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 105 | 2 |
| その他 | △608 | △140 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 123 | 3,139 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 株式の発行による収入 | 56 | 4 |
| リース債務の返済による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | - | △89 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 55 | △85 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,034 | 4,474 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,567 | 6,106 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,601 | 10,581 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、保険業法第3条に基づき損害保険業の免許を取得したアニコム損害保険株式会社が行う損害保険事業（ペット保険）を中核事業としております。

従って、損害保険事業を報告セグメントとしております。

「損害保険事業」は、ペット保険の保険引受業務及び資産運用業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は経常利益をベースとした数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 (注) 2 |
|--------------------|---------|--------------|-------------|
| | 損害保険事業 | | |
| 外部顧客への経常収益 | 12,576 | 244 | 12,821 |
| セグメント間の内部経常収益又は振替高 | - | - | - |
| 計 | 12,576 | 244 | 12,821 |
| セグメント利益又は損失（△） | 1,462 | △135 | 1,327 |
| セグメント資産 | 22,446 | 1,190 | 23,736 |
| セグメント負債 | 13,648 | 124 | 13,773 |
| その他の項目 | | | |
| 減価償却費 | 73 | 55 | 128 |
| 資産運用収益 | 338 | 0 | 338 |
| 支払利息 | 0 | - | 0 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 760 | 131 | 892 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、保険代理店事業、小動物先進医療臨床・研究事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 (注) 2 |
|--------------------|---------|--------------|-------------|
| | 損害保険事業 | | |
| 外部顧客への経常収益 | 13,838 | 202 | 14,041 |
| セグメント間の内部経常収益又は振替高 | | | |
| 計 | 13,838 | 202 | 14,041 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,343 | △270 | 1,072 |
| セグメント資産 | 25,561 | 938 | 26,499 |
| セグメント負債 | 15,096 | 117 | 15,214 |
| その他の項目 | | | |
| 減価償却費 | 157 | 67 | 225 |
| 資産運用収益 | 189 | 2 | 191 |
| 支払利息 | 0 | 0 | 0 |
| 持分法投資利益又は損失 (△) | - | △47 | △47 |
| 持分法適用会社への投資額 | - | 23 | 23 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 451 | 95 | 547 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、保険代理店事業、小動物先進医療臨床・研究事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への経常収益が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

「損害保険事業」セグメントの当中間連結会計期間における減損損失計上額は、108百万円であります。

また、「その他」の当中間連結会計期間における減損損失計上額は39百万円であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

重要性が乏しいため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) | 当中間会計期間 (平成28年9月30日) |
|--------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 157 | 283 |
| 売掛金 | 96 | - |
| その他 | 520 | 535 |
| 繰延税金資産 | 6 | 3 |
| 流動資産合計 | 781 | 822 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 154 | 147 |
| 無形固定資産 | 10 | 9 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 149 | 149 |
| 関係会社株式 | 8,507 | 8,370 |
| その他 | 442 | 471 |
| 繰延税金資産 | 2 | 3 |
| 投資その他の資産合計 | 9,101 | 8,994 |
| 固定資産合計 | 9,267 | 9,151 |
| 資産合計 | 10,048 | 9,973 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払法人税等 | 163 | 202 |
| 賞与引当金 | 7 | 6 |
| その他 | 558 | 548 |
| 流動負債合計 | 730 | 757 |
| 負債合計 | 730 | 757 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,396 | 4,398 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 4,286 | 4,288 |
| 資本剰余金合計 | 4,286 | 4,288 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 575 | 423 |
| 利益剰余金合計 | 575 | 423 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 株主資本合計 | 9,257 | 9,109 |
| 新株予約権 | 60 | 106 |
| 純資産合計 | 9,317 | 9,216 |
| 負債純資産合計 | 10,048 | 9,973 |

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

| | 前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|-----------------------|--|--|
| 営業収益 | | |
| 経営管理料 | 331 | 560 |
| 関係会社受取配当金 | 600 | 300 |
| 営業収益合計 | 931 | 860 |
| 営業費用 | | |
| 販売費及び一般管理費 | 363 | 514 |
| 営業費用合計 | 363 | 514 |
| 営業利益 | 567 | 346 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 3 |
| 営業外収益合計 | 0 | 3 |
| 営業外費用 | | |
| その他 | — | 1 |
| 営業外費用合計 | — | 1 |
| 経常利益 | 568 | 348 |
| 特別損失 | | |
| 関係会社株式評価損 | — | 386 |
| 固定資産除却損 | 0 | 10 |
| 減損損失 | — | 8 |
| 特別損失合計 | 0 | 405 |
| 税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△) | 567 | △56 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △7 | 4 |
| 法人税等調整額 | △4 | 0 |
| 法人税等合計 | △11 | 5 |
| 中間純利益又は中間純損失(△) | 579 | △62 |

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|----------------------|-------|-------|---------|---------------------|---------|------|--------|-------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | |
| 当期首残高 | 4,350 | 4,240 | 4,240 | △72 | △72 | △0 | 8,518 | - | 8,518 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 28 | 28 | 28 | | | | 56 | | 56 |
| 中間純利益 | | | | 579 | 579 | | 579 | | 579 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | | | | 9 | 9 |
| 当中間期変動額合計 | 28 | 28 | 28 | 579 | 579 | - | 635 | 9 | 644 |
| 当中間期末残高 | 4,378 | 4,268 | 4,268 | 506 | 506 | △0 | 9,153 | 9 | 9,162 |

当中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|----------------------|-------|-------|---------|---------------------|---------|------|--------|-------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 | | | | |
| 当期首残高 | 4,396 | 4,286 | 4,286 | 575 | 575 | △0 | 9,257 | 60 | 9,317 |
| 当中間期変動額 | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 2 | 2 | 2 | | | | 4 | | 4 |
| 剰余金の配当 | | | | △89 | △89 | | △89 | | △89 |
| 中間純損失 (△) | | | | △62 | △62 | | △62 | | △62 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | | | | 45 | 45 |
| 当中間期変動額合計 | 2 | 2 | 2 | △151 | △151 | - | △147 | 45 | △101 |
| 当中間期末残高 | 4,398 | 4,288 | 4,288 | 423 | 423 | △0 | 9,109 | 106 | 9,216 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 平成29年3月期 第2四半期損益状況

(単位：百万円)

| 区 分 | | 前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 比較増減 | 増減率 (%) |
|-----------------------|---------------------|--|--|-------|------------|
| 経 常 損 益 | 保 険 引 受 収 益 | 12,234 | 13,642 | 1,407 | 11.5 |
| | (うち正味収入保険料) | (12,234) | (13,642) | 1,407 | 11.5 |
| | 保 険 引 受 費 用 | 8,406 | 9,194 | 787 | 9.4 |
| | (うち正味支払保険金) | (6,580) | (7,299) | 719 | 10.9 |
| | (うち損害調査費) | (420) | (476) | 55 | 13.1 |
| | (うち諸手数料及び集金費) | (749) | (923) | 174 | 23.3 |
| | (うち支払備金繰入額) | (173) | (162) | △10 | △6.2 |
| | (うち責任準備金繰入額) | (482) | (331) | △150 | △31.2 |
| | 資 産 運 用 収 益 | 338 | 191 | △147 | △43.5 |
| | (うち利息及び配当金収入) | (176) | (142) | △33 | △19.2 |
| | (うち有価証券売却益) | (162) | (49) | △113 | △69.9 |
| | 資 産 運 用 費 用 | - | - | - | - |
| | (うち有価証券売却損) | (-) | (-) | - | - |
| | 営 業 費 及 び 一 般 管 理 費 | 3,032 | 3,660 | 627 | 20.7 |
| そ の 他 経 常 損 益 | 192 | 94 | △98 | △51.2 | |
| 経 常 利 益 | 1,327 | 1,072 | △254 | △19.2 | |
| 特 別 損 益 | 特 別 利 益 | 27 | - | △27 | △100 |
| | 特 別 損 失 | 19 | 182 | 163 | 860.0 |
| | 特 別 損 益 | 8 | △182 | △191 | △2,202.7 |
| 税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益 | | 1,335 | 890 | △445 | △33.4 |
| 法 人 税 及 び 住 民 税 等 | | 407 | 341 | △66 | △16.2 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | | △30 | △84 | △54 | 179.5 |
| 法 人 税 等 合 計 | | 377 | 257 | △120 | △31.9 |
| 中 間 純 利 益 | | 958 | 633 | △325 | △34.0 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | | 958 | 633 | △325 | △34.0 |

(2) 経常収益の状況

経常収益をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 前中間連結会計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 対前年 同四半期比 |
|--------------------|--|--|--------------|
| | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | (%) |
| 損害保険事業 (ペット保険) | 12,576 | 13,838 | 10.0 |
| 損害保険 (アニコム損害保険(株)) | 12,576 | 13,838 | 10.0 |
| (うち正味収入保険料) | 12,234 | 13,642 | 11.5 |
| その他の事業 | 244 | 202 | △17.1 |
| 動物病院支援 | 71 | 83 | 17.3 |
| 保険代理店 | 6 | 6 | 2.8 |
| 小動物先進医療臨床・研究 | 126 | 63 | △49.7 |
| その他 | 39 | 48 | 22.5 |
| 合計 | 12,821 | 14,041 | 9.5 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種目別保険料・保険金

アニコム損害保険株式会社における保険引受の実績は以下のとおりであります。

① 元受正味保険料（含む収入積立保険料）

| 区分 | 前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月 30日) | | | 当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月 30日) | | |
|-------------|--|------------|--------------------------|--|------------|--------------------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 対前年同四半 期増減(△) 率(%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 対前年同四半 期増減(△) 率(%) |
| ペット保険 | 12,234 | 100.0 | 19.0 | 13,642 | 100.0 | 11.5 |
| 合計 | 12,234 | 100.0 | 19.0 | 13,642 | 100.0 | 11.5 |
| (うち収入積立保険料) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |

(注) 元受正味保険料（含む収入積立保険料）とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。（積立型保険の積立保険料を含む）

② 正味収入保険料

| 区分 | 前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月 30日) | | | 当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月 30日) | | |
|-------|--|------------|--------------------------|--|------------|--------------------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 対前年同四半 期増減(△) 率(%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 対前年同四半 期増減(△) 率(%) |
| ペット保険 | 12,234 | 100.0 | 19.0 | 13,642 | 100.0 | 11.5 |
| 合計 | 12,234 | 100.0 | 19.0 | 13,642 | 100.0 | 11.5 |

③ 正味支払保険金

| 区分 | 前中間連結会計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月 30日) | | | 当中間連結会計期間 (自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 9月 30日) | | |
|-------|--|------------|--------------------------|--|------------|--------------------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 対前年同四半 期増減(△) 率(%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 対前年同四半 期増減(△) 率(%) |
| ペット保険 | 6,580 | 100.0 | 10.8 | 7,299 | 100.0 | 10.9 |
| 合計 | 6,580 | 100.0 | 10.8 | 7,299 | 100.0 | 10.9 |

(4) 有価証券関係

企業集団の事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。

1. 満期保有目的の債券

該当事項はありません。

2. その他有価証券

前連結会計年度（平成28年3月31日）

| 種類 | | 連結貸借対照表計上額 (百万円) | 取得原価 (百万円) | 差額 (百万円) |
|----------------------------|-----|---------------------|---------------|-------------|
| 連結貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの | 株式 | 19 | 17 | 1 |
| | その他 | 30 | 29 | 0 |
| | 小計 | 49 | 47 | 2 |
| 連結貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの | 株式 | 253 | 291 | △37 |
| | その他 | 10,132 | 10,269 | △136 |
| | 小計 | 10,386 | 10,560 | △174 |
| 合計 | | 10,436 | 10,608 | △172 |

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

当中間連結会計期間（平成28年9月30日）

| 種類 | | 中間連結貸借対照表 計上額 (百万円) | 取得原価 (百万円) | 差額 (百万円) |
|----------------------------------|-----|------------------------|---------------|-------------|
| 中間連結貸借対照表計 上額が取得原価を超え るもの | 株式 | 53 | 53 | 0 |
| | その他 | 608 | 600 | 8 |
| | 小計 | 661 | 653 | 8 |
| 中間連結貸借対照表計 上額が取得原価を超え ないもの | 株式 | 529 | 559 | △29 |
| | その他 | 5,643 | 5,793 | △150 |
| | 小計 | 6,173 | 6,352 | △179 |
| 合計 | | 6,835 | 7,006 | △171 |

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

(5) ソルベンシー・マージン比率

アニコム損害保険株式会社の「ソルベンシー・マージン比率」については、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) (百万円) | 当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日) (百万円) |
|---|--------------------------------|-------------------------------------|
| (A) ソルベンシー・マージン総額 | 9,516 | 10,059 |
| 資本金又は基金等 | 8,844 | 9,406 |
| 価格変動準備金 | 32 | 37 |
| 危険準備金 | — | — |
| 異常危険準備金 | 813 | 791 |
| 一般貸倒引当金 | 0 | 0 |
| その他有価証券の評価差額(税効果控除前) | △172 | △171 |
| 土地の含み損益 | △2 | △5 |
| 払戻積立金超過額 | — | — |
| 負債性資本調達手段等 | — | — |
| 払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額 | — | — |
| 控除項目 | — | — |
| その他 | — | — |
| (B) リスクの合計額 $\sqrt{\{(R1+R2)^2+(R3+R4)^2\}+R5+R6}$ | 6,733 | 7,192 |
| 一般保険リスク(R1) | 6,547 | 6,976 |
| 第三分野保険の保険リスク(R2) | — | — |
| 予定利率リスク(R3) | — | — |
| 資産運用リスク(R4) | 729 | 907 |
| 経営管理リスク(R5) | 145 | 157 |
| 巨大災害リスク(R6) | 0 | 0 |
| (C) 単体ソルベンシー・マージン比率(%) [(A)/{(B)×1/2}]×100 | 282.6% | 279.7% |

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・この「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額:上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ① 保険引受上の危険 : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険
(一般保険リスク) (巨大災害に係る危険を除く)
(第三分野保険の保険リスク)
 - ② 予定利率上の危険 : 積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
(予定利率リスク)
 - ③ 資産運用上の危険 : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
(資産運用リスク)
 - ④ 経営管理上の危険 : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
(経営管理リスク)
 - ⑤ 巨大災害に係る危険 : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
(巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、経営の健全性を判断するために活用する客観的な指標のひとつではありますが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。